

今後の経営に向けて 農業セミナー（畜産）閉講式を開催しました

畜産技術センターでは、畜産の新しい担い手として就農後5年目までの農業者（以下、セミナー生）を対象とした農業セミナー（畜産コース）を開催しています。令和6年5月の開講式を皮切りに、定期的な巡回指導や先進的な経営に取り組む畜産農家の視察研修などを実施してきました。

3月24日（月）に開催した閉講式には、酪農4名、養豚1名、採卵鶏1名、合計6名のセミナー生が参加しました。就農年数の内訳は、就農1年目2名、2年目1名、4年目2名、5年目1名でした。

閉講式では、すべての畜種に共通する話題である「食品加工に必要な手続き」について普及指導員が講義を行い、続いて、3月6日に開催した先進地視察研修の解説やセミナー卒業生が参画して作成した小学校向け食育用畜産PR動画を視聴しました。

また、令和6年5月の開講式では、普及指導員の助言を受けながら作成した「農業セミナー巡回チェックシート」の飼養管理、経営技術、衛生管理、生産技術、ネットワークの各項目について、今回の閉講式で1年間の成果を振り返り、技術や知識の習得状況を確認しました。

最後に、採点したチェックシートから明らかになった「出来た点」、「出来なかった点」を各自が発表するとともに、セミナー生同士で意見交換を行いました。

特に今回は一部参加セミナー生から「経営継承」について学びたいという意見があり、経営継承を実施した先輩セミナー生からの助言で活発な意見交換を行うことができました。第3者継承でも親子継承でも重要なポイントには共通項があり、お互いに参考になったようでした。

今後ともセミナー生の要望をしっかり把握し、セミナー生のレベルに合わせた支援を続けていきます。

令和6年度の農業セミナー生は、14名（就農1年目3名、2年目4名、4年目4名、5年目3名）です。



写真1：講義を熱心に聞くセミナー生



写真2：チェックシートの項目を真剣にチェックするセミナー生



写真3：セミナー生と普及指導員を交えた記念撮影